

コロナ禍の中で

令和3年度も、コロナ禍の中で新年度がスタートしました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月末から5月末まで、臨時休校、分散登校など、学校を閉じることを余儀なくされました。本年度は、子どもたちの「学びを止めない」という方針のもと、感染症対策をできる限り講じながら学校教育を進めてまいりました。本日まで大過なく教育活動を進めることができましたのも、保護者の皆様方が日々のお子様の健康観察をしていただき、本校の感染症対策にご理解とご協力をいただいたお陰であると深く感謝しております。ありがとうございます。

コロナ禍の中での学校生活ですが、私たち教職員は、日々子どもたちからたくさん元気もらっています。私の毎日の楽しみは、3年生生徒一人ひとりとの校長室での面接です。5月から実施をし、現在、1組～3組までほぼ全員が終了しました。面談の中で私が生徒に必ず尋ねる質問があります。それは、「将来、どのような大人になりたいですか。どのような仕事につきたいですか。」と将来の夢についての質問です。私の質問に対して「人を笑顔にしたい。」「人を助ける仕事がしたい。」「人の役に立ちたい。」という内容の返答が全員の生徒から返ってきます。夢の実現を目指し、今まで自分が培ってきた力を人のために使いたいという利他の姿勢に触れ、心も体も大きく成長した子どもたちを頼もしく、また誇らしげに感じています。

今もなお、新型コロナウイルスの収束の目途が立たない状況の中に私たちは置かれています。子どもたちの安心・安全を最優先に、「夢をもち、心豊かで、たくましい生徒」の育成につながる教育活動や生徒の活躍の場づくりを、保護者や地域の方とともに進めてまいりたいと思います。お子さんの学校での様子等を観ていただく機会が少ないため、本年度はホームページをリニューアルし充実を図っています。『活動写真／日記』のパスワード付きのページでは、学校行事や学年行事の様子等、写真付きで紹介しています。是非一度、北中学校のホームページをご覧ください。

本校の教育に、引き続きのご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。